

「生駒市都市計画マスタープラン（素案）」のパブリックコメント結果について

資料1

- 1. 案件名 「生駒市都市計画マスタープラン（素案）」に対する意見募集
- 2. 意見提出期間 平成23年1月14日（金）から2月14日（月）
- 3. 担当課 都市整備部 都市計画課
- 4. 意見提出状況 (1) 提出者数 4名 【提出方法】HP（アンケートシステム） 4名
(2) 提出件数 5件

意見の対象とする章・タイトル		No	ご意見の概要	専門部会の考え方
序章	都市計画マスタープランの位置づけ	—	意見なし	—
第1章	都市の将来像	1	<p>都市計画マスタープランは、序章の位置づけと目的にあるように生駒市総合計画と整合性を図りより具体的な指針の役割を果たすと書いている。その通りだと思います。</p> <p>一点だけ意見を言いたいのですが、総合計画の適切な土地利用の推進では、学研高山第2工区については、「自然環境との共生」を軸とした適切な土地利用の配置・誘導に努めるとされている。都市マスでどのようなより具体的な土地利用の配置が明記されているのか楽しみにしていたら、土地利用の方針では、総合計画より後退していると思われます。</p> <p>また、奈良県の都市計画区域マスタープランには、当該区域は、新たな産業の創出を牽引する機能の整備を図るとされています。せめて、生駒市の都市マスでもこのぐらいの記述があればと考えます。</p>	<p>学研高山第2工区については、生駒市総合計画が策定された以降に、方向性の大きな変化があり、具体的な方向性について記述することが困難となったため、現在の表記内容としています。</p>
第2章	全体構想	1	<p>今回のマスタープランは、行政と市民の役割がわかりやすく書いてあるので良いと思う。人口減少社会を踏まえ、コンパクトなまちを目指す中で、交通環境を充実するの公共交通サービスのコミュニティバスと乗り合いタクシーについては少し矛盾するのかと考えるが「費用対効果も十分に考慮する」と明記しているので良いのかとは思ふ。</p> <p>住宅を購入する際、交通の不便は分かっているが、自然環境を優先して選ぶとかしていると思う。</p> <p>その方たちが、どうしてもコミュニティバスなどが必要なら、自己責任で行うべきだと考える。バス購入経費など1回きりの補助金ならまだ良いがランニングコストを税金で賄うのはいかなものかと考える。</p> <p>現在、別のパブリックコメントの生駒市地域公共交通総合連携計画ではランニングコストを税金で賄うような考えであるように思う。</p> <p>都市マスを順守して生駒市地域公共交通総合連携計画を策定してほしい。</p>	<p>交通環境を充実する上では、公共交通の空白地への乗合タクシーやコミュニティバスの導入は、必要であると考えます。</p> <p>しかし、その導入には、ご意見のように十分配慮する必要があることから、今回の都市計画マスタープランでは、費用対効果も十分に配慮しながら、地域住民やバス、タクシー事業者などとともに具体的な方策を検討するとしております。</p>
第3章	地域別構想	—	意見なし	—

意見の対象とする章・タイトル		No	ご意見の概要	専門部会の考え方
第4章	実現に向けて	—	意見なし	—
その他	「生駒市都市計画マスタープラン」全体	1	<p>これからのまちづくりに取り組む主体が、推進、協働、支援で明確にされており、わかりやすい都市マスで良いと思う。</p> <p>できれば、生駒市を取り巻く社会環境の変化や、生駒市の特性と主要課題でその結論に至った資料や写真を挿入してもらえたらもっとわかりやすいと思う。</p> <p>また、全体構想のまちづくりの方針にも、先進的な市内の取り組みの写真など挿入したらイメージがわかりやすいと思います。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、社会環境の変化やまちの特性に関連する、主要な現況資料について、挿入いたしました。</p> <p>また、全体構想以降において、方針の記述に関連する、本市の現状や特色ある取組み等に関する写真を挿入いたしました。</p>
		2	<p>生駒市の活性化、ブランド化のため、「リニア中央新幹線の誘致促進」をどこかに明記してもらえたら良いと思います。</p> <p>理由 リニアの沿線である、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、岐阜県、愛知県、三重県、奈良県及び大阪府でリニア中央新幹線建設促進期成同盟会を結成して誘致しているにもかかわらず、最近京都府が停車場に名乗りを上げているらしい。</p> <p>このような状況では、県と喧嘩せずに、共に誘致しなければ京都府に負けてしまう。</p> <p>奈良県に停車場ができるとすれば、遺跡が多くある奈良市より生駒市の学研地区になると思われる。</p>	<p>リニア中央新幹線については、本市の将来のまちづくりに大きな影響を与えるプロジェクトですが、その時期や具体的方向等については検討中の段階です。</p> <p>このため、本計画における施策等の具体的な記述は困難であることから、都市構造(p16)の鉄道軸において、「関係機関との連携のもと、まちの更なる発展に資する方向性について、検討、調整を進めます」といたしました。</p>
		3	<p>全体的にわかりやすい都市計画マスタープランに出来上がっていると思います。できれば、道路や河川、下水道などがどのようになるのかがわかればもっと良いと思います。</p> <p>また、60ページ程の内容ですが、生産緑地や資源循環型社会、低炭素まちづくり等の専門的な語句について脚注があれば、さらに見やすくなります。</p> <p>それと全体に使われている地図ですが、施設や寺社、史跡等の言葉を統一したり、縮尺の表現を合わせたいかがでしょうか。少しずつ違います。</p> <p>(P15:往馬大社、P27:往馬神社) (P27: Km表示、P30: m表示) (P30: 駅名表示について近鉄生駒ケーブルは「駅」の言葉が抜けている)等。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、道路や河川、下水道などの整備方針は、目標実現に向けてのまちづくり方針を整理しなおし、分野別まちづくりの方針として資料編に挿入しました。また、名称や図面のスケール(距離計)について統一を図るとともに、抜けている「駅」の追加を図りました。</p> <p>また、ご指摘の用語以外も含めて、専門用語に関する解説を、巻末に追加・拡充いたしました。</p>